

平成 29 年度 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

■DMメディアと個人情報マーケティングについての発信と協会の魅力作りを推進

「デジタル時代のDMの役割」を明確なテーマとして、DMメディアのよりよい活用や、DMを知らない、DMを利用したい新たなターゲットに向けた働きかけを行った。前年に引き続き「DMメディア実態調査」、「全日本DM大賞」の受賞事例、各種レポートを通じて会員社及びマーケット全体に対する情報発信によってDM協会の存在をアピールすることができた。

■事業基盤の全国拡大へ向けた認定資格やセミナーの地方開催推進

「DMアドバイザー」「DMマーケティングエキスパート」「DMマーケティングプロフェッショナル」の3つの認定研修が定着し、DM成功事例セミナーの東京、大阪、福岡 3 か所開催のレギュラー化に加え、DMマーケティングエキスパート認定資格試験単独開催を東京、大阪にて実施した。現時点でのDMマーケティングの企画・制作について集大成した「新DMの教科書」を 4 月に刊行し、日本全国で体系的な実務ノウハウが学べる基盤整備を行うことができた。

一方、派遣型DM講座、業務委託での講師派遣も順調な伸びを見せ、企業内研修や講演会コンテンツとしてレギュラー化が進展、定例の研修会ではカバーできない東京以外のエリアでのシリーズ型勉強会対応などで補完的な役割を果たすことができた。

■最新の個人情報マーケティングへの積極的な対応

DMを取り巻く顧客情報マーケティングの環境が大きく変化しつつある中、「データベースマーケティング委員会」を中心に、ビッグデータ、マーケティングオートメーション、人工知能等の情報収集及び発信を積極的に行い、2 月の「データドリブンセミナー」には 111 名が参加するなど、最新のマーケティング情報や事例の発信も実施した。

また、研究開発委員会では定例の「DMメディア実態調査」に加え、若年層のDM受容についてのグループインタビューも実施、データに基づくファクトの提供を行う。

■会勢拡大を重点目標に据え、健全な財政体質の確立を目指す

平成 29 年度は赤字予算に対し 277 万円の黒字となり、前年に続いて5年連続黒字を達成、繰越金は 3, 199 万円を確保することができた。今期は入会 4 社退会 1 社と入会が上回っている状況だが、今後会勢拡大路線に乗せていくことが来期最大の課題と言える。

また、多岐にわたる事業を運営していく中、事務局スタッフ 3 名体制を 4 名体制として安定した事業運営を行える体制とした。今後の事業拡大、会勢拡大推進の基盤としてより効果的な運用を図っていくこととする。

総務・財務委員会

1. 一般社団法人として財務の健全化(会勢拡大など)に努めた

(1)入会数 5 社目標とし、退会数 0 社見込んでいたが、入会／正会員 4 社、準会員 0 名、退会／正会員 1 社、準会員 0 名の結果となった。会員数は前年度対比正会員 3 社増、準会員増減なしにより、平成 29 年度は正会員 89 社、準会員 3 名。

(2)会勢拡大活動

- ・協会主催セミナー受講者、書籍購入者、関係団体主催セミナー受講者へ協会パンフレットを配布。
- ・当協会発行書籍の購入者等へ個別アプローチ。

上記等の活動を行い、セミナー受講や書籍購入、協会ホームページからの入会は0社。2社は協会役員2名からの紹介による入会だった。

(3)予算時、収支差額 207 万円赤字のところ、決算時 277 万円の黒字と、約 480 万円の上方修正

会費収入では、新入会員数は予算時の目標に未達で、会費収入全体として対予算約 64 万円のマイナス、事業収入では、DMマーケティングエキスパート関連は予算より若干マイナス、業務受託で対予算約 460 万円増、DMメディア実態調査で対予算約 540 万円増。支出では、業務委託で対予算約 290 万円支出増などがある。

2. 賀詞交歓会、総会・懇親会などの運営を担い、会員の情報交換・親睦の場を提供した

(1)第 5 回(通算 42 回) 定時総会の開催

第 5 回(通算 42 回)を 6 月 19 日(月)、メルパルク東京にて開催。平成 28 年度事業報告・収支決算、及び任期満了に伴う役員改選について、そして平成 29 年度事業計画・収支予算及び平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書の提出の報告を行った。

また、定時総会後に下記の講演会と懇親会を開催。約 80 名が参加した。

テーマ 『Omni-Channel 時代のマーケティング戦略

～お客様と時間を共有し、絆を深める統合マーケティングの重要性～』

講師 奥谷 孝司 氏 (オイシックス(株) 統合マーケティング室 室長 COCO)

※所属、役職等はいずれも開催当時のもの。

(2)賀詞交歓会の開催

平成 29 年中の新入会員の歓迎を兼ね、平成 30 年 1 月 11 日(木)、メルパルク東京にて賀詞交歓会を開催。約 110 名が出席、盛況裡に終了した。正会員 2 社が自社のサービスや会社の案内リーフレットを会場入り口に設置し、参加者への告知の場としても利用がなされた。

3. 「ダイレクトメールの利用に関する個人情報保護ガイドライン」などを見直した

協会の個人情報に関する取り組み、考え方として、国の定める個人情報保護関連法規制及びこれまでの「ダイレクトメールの利用に関する個人情報保護ガイドライン」に替えて、個人情報保護委員会の定めるガイドライン等を遵守するという内容に改めた。それに伴い協会ホームページ内の表記も修正した。

協会の倫理綱領を遵守することと合わせて、協会の社会的信頼維持と法令遵守に努めた。

4. 会員限定のメール情報提供の配信

会員メリット強化の1つとして、会員限定のメール情報提供を行っている。今年度は以下の 2 件を配信した。

- ・11 月 13 日(月)賀詞交歓会のお知らせ
- ・1 月 30 日(火)現場見学会のお知らせ

5. 会員社の自社商品・サービス紹介の場の提供

会員メリットの 1 つとして、協会主催の会員交流会や、非会員も受講の協会主催のセミナーにて協会会員社の

「DMやダイレクトマーケティングに関する商品・サービス」に関するリーフレットや、各社のノベルティの配布について、DM制作教室と賀詞交歓会の案内の際に配布を募集。賀詞交歓会の際に正会員 2 社が申込、当日会場内にて自社の商品、サービスの紹介パンフレットを設置した。

6. 会員情報確認用紙の見直しを行った

毎年 2 月に、全会員社の連絡担当窓口の皆さま宛てに、会員社としての登録情報の確認のためのフォームを送り、返信いただいているが、今年度は会員メリットの強化の 1 つとして、業種の登録可能数の引き上げや、教育担当者の情報登録の新設、業務対応可能エリアの登録の新設など、協会ホームページを通して「DM」に関心のある事業社へのアピールとなる項目の追加を行った。返信いただいた情報は平成 30 年度に予定している協会ホームページ内の事業社検索ページなどに反映、会員社のアピールの一助となればと準備している。

7. 関連団体や会員社からの協賛・後援・協力依頼について

《承認》(承認順)

- ・名称/アドタイ・デイズ 2017 主催/㈱宣伝会議 内容/協賛 開催期間/平成 29 年 4 月 26 日～27 日
開催場所/東京国際フォーラム
- ・名称/コマースサミット 主催/コムエキスポジアム・ジャパン㈱ 内容/協賛・後援
開催期間/平成 29 年 5 月 30 日～6 月 1 日 開催場所/ヒルトン小田原リゾート&スパ
- ・名称/蘇るカタログ 主催/(一社)PODi、(一社)日本リテンションマーケティング協会
内容/協賛 開催期間/平成 29 年 7 月 5 日 開催場所/テレコムセンタービル 西島会議室
- ・名称/第 32 回全日本DM大賞 主催/日本郵便㈱
内容/協賛 開催期間/平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 開催場所/日本郵便㈱
- ・名称/JPA40 周年記念講演会 主催/(学)日本プリンティングアカデミー
内容/後援 開催期間/平成 29 年 11 月 20 日 開催場所/日本印刷会館
- ・名称/page2018 主催/(公社)日本印刷技術協会
内容/協賛 開催期間/平成 30 年 2 月 7 日～2 月 9 日 開催場所/サンシャインコンベンションセンター
TOKYO
- ・名称/CCAJコンタクトセンター・セミナー2018 主催/(一社)日本コールセンター協会
内容/後援 開催期間/平成 30 年 2 月 22 日～23 日 開催場所/アーバンネット神田カンファレンス
- ・名称/通販ウルトラクイズ 主催/㈱ダイレクトマーケティングゼロ
内容/協賛 開催期間/平成 30 年 3 月 2 日 開催場所/THE BAGUS PLACE

8. 公益目的支出計画実施報告書の提出と、実施完了について

一般社団法人への移行に伴い、公益目的支出計画として当協会は 4 年をかけて公益財産を取り崩すこととしており、最終 4 回目の報告を 6 月 30 日に電子申請した。無事 8 月末に内閣府から公益目的支出計画の実施完了の確認書が届いた。実施完了の確認書はホームページに掲載、広く告知している。

また、公益目的支出計画の実施完了に伴い、その対象事業となっていた「消費者向けのDMホットライン」の事業も終了した。

9. 協会事務局職員の退職と採用について

協会事務局の事業担当職員と経理総務担当職員、計2名が退職。補充のために求人サイトに出稿。まずは事業担当職員1名を採用。2月13日から勤務。経理総務担当職員は来期、業務内容の見直しを行いつつ、当面アウトソーシングの活用も視野に、採用を検討の予定。

広報委員会

1. 協会ホームページの活用状況について

平均月間訪問者数 3,944 件と昨対比 1 割増。業界トピックスに投稿された記事をメルマガで配信。また、DM資料館の紹介や会員専用ページ内コンテンツを協会報に掲載し、協会ホームページの活用を促進。

2. 協会ホームページ年間更新作業について

- ・DMマーケティングエキスパート認定資格試験の申込み受付開始に合わせ、詳細ページを新設し、導線としてトップページにバナーを追加した。
- ・「新DMの教科書」発刊にあわせ、DMマーケティングエキスパート認定資格試験の公式テキストとわかるようトップページに項目を追加した。
- ・これまでにリリースされた「DMメディア実態調査(完全版)」を会員専用コンテンツからもダウンロードできるよう、ページを新設した。
- ・これまで協会報4面に掲載していた海外事例をPDFにし、海外事例ページを新設した。
- ・トップ画面に「日本DM協会からのお知らせ」を43件、「業界トピックス」を15件掲載した。(2018年3月末時点)

3. 協会報、メルマガについて

予定通りに発行中。

今年度より協会報を年4回(4月末、7月末、10月末、2月上旬)、定例メルマガを月2回の配信に変更した。メルマガは定例配信の他に、セミナー・研修会の開催告知をそれぞれ単独のメルマガにした。また、会員向けサービスとして、業界トピックスに投稿された内容を定例メルマガに掲載中。

今年度は計33件配信済。3月31日現在のメルマガ登録数は3,919件となった。

4. DM REPORT、DM ANNUAL2017 について (執筆者敬称略)

- | | | |
|-----|--|---------|
| 4月 | 『2017年全日本DM大賞 受賞作品から見る効果的なDM戦略』 | 明石智子 |
| 5月 | 『「DMメディア実態調査2016」報告』 | 研究開発委員会 |
| 8月 | 『最近の広告動向とダイレクトメール(DM) ～広告費統計・予測データ、広告動態調査からの一考察～』 | 井上東二郎 |
| 10月 | 『データベースマーケティング委員会活動経過報告 デジタルシフト・AI普及時代に求められるDMとは』 | 宇井剛史 |
| 11月 | 『DMA年次大会&Then17 参加報告』 | 谷田貝正人 |
| 3月 | 『データドリブン・コミュニケーションセミナー開催報告～DMの進化を考える～』 | 宇井剛史 |

※上記6本のDM REPORTを「DM ANNUAL 2017」としてまとめ、3月27日に会員専用ページに発刊済。

5. ロゴマーク使用申請の状況について

2016年度の申請件数・・・26件

2017年度の申請件数・・・25件(2018年3月末時点)

審査の結果、いずれも規程に準じた内容であったことから承認。

6. メルマガ会員拡大策について

全日本DM大賞パンフレット(2017)を特典にした会員登録促進キャンペーンを、年2回実施。

4月12日～6月9日まで・・・アクセス数1,464件のうち、新規登録49件

8月1日～10月31日まで・・・アクセス数1,475件のうち、新規登録52件

また、各種セミナー、賀詞交歓会開催時の名刺獲得などにより531件の新規登録を獲得。それにより、3,919件(2018年3月末時点)のメルマガリストとなった。

7. バナー広告申請の状況について

2018年3月末時点の掲載件数は3件。今年度の目標掲載件数(2件)を達成。

掲載期間は原則1年間で、掲載費用は会員:10万円(税抜)、一般:15万円(税抜)

ダイレクトマーケティング委員会

1. DM成功事例セミナー2017の開催 東京

全日本DM大賞受賞作品の中から上位入賞の制作者によって事例解説をしてもらうという内容で、引き続き今年度もDM成功事例セミナーを開催した。

【実施】5月26日(金)／7コマ9事例、日本印刷会館(中央区・新富)

【結果】目標の60名予定に対して、85名(一般30名、会員55名)が申込。

2. DM成功事例セミナー2017の開催 地方(九州・関西)

全日本DM大賞受賞作品の中から上位入賞の制作者によって事例解説をもらうという内容で、昨年度に引き続き、九州・関西エリアでもDM成功事例セミナーを開催した。

【実施】九州:6月8日(木)／5コマ7事例、九州ビル(福岡市博多区)

関西:6月9日(金)／5コマ7事例、新大阪丸ビル別館(大阪市東淀川区)

【結果】目標の98名予定(2会場計)に対して165名(2会場計)が申込。

実参加者数は九州87名(一般61名、会員26名)、関西72名(一般35名、会員37名)であった。

3. 第13回DMマーケティングエキスパート研修会の開催

ダイレクトメール・マーケティングに理解の深い人材を育成、DMの普及を促進するべく、企画・営業系のカリキュラムを中心とした第13回DMマーケティングエキスパート研修会を開催した。

【実施】6月22日、23日(木、金)／日本印刷会館(中央区・新富)

【結果】目標の新規47名・更新110名予定に対して、新規51名・更新者121名(DMMP移行者含む)の計172名(一般42名、会員130名)をDMマーケティングエキスパートとして認定した。

4. 第3回DMマーケティングプロフェッショナル研修会の開催

「制作も営業提案も一定のスキルを有する、DMのコンサルティングができる人材」の育成・認定を目的に、DM関連の責任者向けカリキュラムを中心とした第3回DMマーケティングプロフェッショナル研修会を開催した。

【実施】7月27日、28日(木、金)／日本印刷会館(中央区・新富)

【結果】目標の新規20名・更新40名予定に対して、新規15名・更新46名が申込。新規で合格14名、不合格1名となり、資格更新者と併せ60名(一般22名、会員38名)をDMマーケティングプロフェッショナルとして認定した。

5. 第13回DMマーケティングエキスパート研修会 【単独開催】 (依頼対応事業)

会員社で15名以上の受講と会場費負担の確約が取れた場合に限り、単独開催を受けることにしているが、今回、会員1社より依頼があり、単独開催を行った。

【実施】9月7日、8日(木、金)／会員社(都内)

【結果】新規74名の受講、資格更新者85名(団体78名、個人7名)と合わせ計159名をDMマーケティングエキスパートとして認定した。

6. 第31回DM制作教室の開催

DM制作の技術と知識を身につけた人材を育成、DMの品質向上を促進するべく、制作系のカリキュラムを中心とした第31回DM制作教室を開催した。

【実施】9月28日、29日(木、金)／日本印刷会館(中央区・新富)

【結果】目標の31名予定に対して、25名(一般16名、会員9名)の受講。全員をDMアドバイザーとして認定した。

7. 2017年度DMマーケティングエキスパート認定資格試験の実施

東京と大阪の2会場で同時開催。試験問題は「新DMの教科書」に準拠し、マークシートによる選択肢問題100問、計算・記述問題22問を出題した。

【実施】11月15日(水)／日本印刷会館(中央区・新富)、新大阪丸ビル別館(大阪市東淀川区)

【結果】目標の60名予定に対して、55名(一般22名、会員33名)が申込。41名合格、12名不合格、当日欠席2名だった。合格率77.4%。試験合格の41名をDMマーケティングエキスパートとして認定した。

8. 派遣型DM講座の実施

依頼の寄せられた企業(会員・非会員問わず)へ講師が出向くというスタイルと、要望に合わせたカリキュラムを組めるというセミオーダー型が注目を集め、本格稼働から5年目となる今年度は年間6本(非会員2社3本、会員2社3本)の講座を実施した。

9. 「新DMの教科書」の発行と大口注文の受付

7月10日発行。販売は基本的に発行元である宣伝会議が行う。ただし大口注文(一度の注文で30冊以上かつ納品先1か所に限る)については、協会でも申込みを受け付け、宣伝会議から手数料を受け取ることとなった。

【結果】目標200冊の販売予定に対し、130冊(3件)の販売。

10. e-ラーニング

資格取得者のメリットの1つとして、オンラインでの配信等ができないか検討したが今回は見送り。来期に向けて引き続き検討していく。

11. 研修受講者のデータベース

今年度運用を開始したオンラインテストやセミナー等の申込フォームは、大きな問題もなく運用。また、資格取得者のデータベースについては、現在検討中の協会ホームページ内「DM関係企業の検索」＝事業者向けのDM相談窓口との運用・管理方法と統合できるよう、システム会社と打合せ、見積を取って検討していく。

ロジスティクス委員会

1. 現場見学会について

日本郵便(株)、(株)ベネッセコーポレーションの協力をいただき、3月8日(木)に実施。岡山に2017年5月にオープンした岡山郵便局と、ベネッセロジスティクスセンターにて物流の実態を学んだ。委員社含む会員社15社34名が参加。好評のまま無事終了した。

2. 「DM情報ガイド」の改訂

2018年6月リリースに向け、改訂内容を検討中。料金表は冊子に入れず、PDFや該当ページへのリンクなどで対応する。

研究開発委員会

1. DMメディア実態調査2017

平成24年度以降継続して平成29年度も消費者パネル調査を12月に実施。結果速報は2月の全会員連絡文書に同封、報告した。

調査報告書はDMの現況を広く知らせ、利用を促進する意味からも、そのダイジェスト版は協会ホームページ内「調査統計資料・その他資料ページ(無料)」に掲載、非会員へも広く公表。詳細版は、会員社へは従来通り協会ホームページ内「会員専用ページ(無料)」にて公開するとともに、昨年度より非会員へは協会ホームページ内「オンラインショップ(有料)」にて有償にて販売。DMの特性の伝播に繋がりたいと考えている。

2. コンテンツ販売

昨年度より協会ホームページ内「オンラインショップ」で、協会保有コンテンツの販売を始めた。

今年度の実績は3月末時点で

DMメディア実態調査・完全版 4件 (非会員4件)

DM FACTBOOK 2016 6件 (会員3件、非会員3件)。

データベースマーケティング委員会

1. 勉強会の実施

委員会の活動テーマである

- eメールと紙の作業フロー、コンテンツの制作について最適なものを検討・探求
- DBの整理の仕方の提案

について、毎月勉強会を実施中。勉強会の参加は委員社限定とし、各テーマに沿った外部講師の講演と委員社の取組を発表。4月から11月末までで計7回開催済。

- (1)5月31日に共同印刷(株)会議室で実施。委員社とその得意先招待者をあわせ、31名が参加。
- (2)6月27日にDM協会会議室で実施。東京大学工学系研究科大澤教授と早矢仕助教を招き、委員7名でワークショップを実施。
- (3)7月24日にチーターデジタル(株)会議室で実施。委員社14名が参加。
- (4)8月25日に(株)ディーエムエス会議室で実施。委員社16名が参加。
- (5)10月5日にDM協会会議室で実施。東京大学工学系研究科大澤教授と早矢仕助教を招き、委員6名でワークショップを実施。
- (6)10月27日に(株)リコー会議室で実施。委員社12名が参加。
※「DM REPORT No.4」にて上期の委員会活動を報告済。
- (7)11月21日にDM協会会議室で実施。委員5名でワークショップを実施。

2. データドリブン・コミュニケーションセミナー2018の開催

AIによる顧客嗜好性分析やマーケティングオートメーションなど新たなデータ活用によって進化するDMをテーマに開催した。「DM REPORT No.6」にてセミナーの講演内容を報告済。

【実施】2月16日(金)／日本印刷会館(中央区・新富)

【結果】目標の100名予定に対して、111名(一般71名、会員40名)の受講。

その他

1. DMホットライン

公益目的支出計画実施完了に伴い、その対象事業となっていた「消費者向けのDMホットライン」の事業も終了。今後はDMの更なる利活用促進を目的に、事業者向けのDM相談窓口＝「DM関係企業の検索」への転換を考えている。

2. 受託業務

下記7件の委託があり受託した。

受託内容／実施状況

- (1)一定以上のDM・DRMの知見を有している人を講師として紹介、講座実施／平成29年5月31日～平成30年3月で年10回
- (2)DMソリューションの構成についての提案書作成／平成29年8月～9月30日
- (3)一定以上のDM・DRMの知見を有している講師候補の紹介とそのための受諾意向確認ヒアリング作業／平成29年11月～平成30年2月
- (4)DRM及びソリューション提案について知見のある講師候補の確認と紹介／平成30年1月30日
- (5)「デジタルマーケターのためのDM講座」の企画と実施／平成30年3月～平成31年2月で計12回
- (6)DMメディア実態調査データ、全日本DM大賞受賞事例をもとにした営業ツール「DM FACTBOOK 2018」の制作／平成30年3月
- (7)会員社発行のニュースレターのコンテンツ作成／平成30年2月～3月